

第 27 回 筑協「つくば 3 E フォーラム」委員会議事要旨（案）

- 1 日 時 平成 31 年 3 月 7 日（木）10:00～11:20
- 2 場 所 文部科学省研究交流センター 2 階 第一会議室
- 3 出席者 （順不同，敬称略）
 委員長：鈴木石根（筑波大）
 委員：本田一匡（産総研），篠原嘉一（物材研），小森栄作（農研機構），
 石田政義（筑波大）
 TF 座長：（石田政義（筑波大）），谷口綾子（筑波大）
 事務局長：内海真生（筑波大）
 オブザーバー：幅 淳二（高工研）
- 4 配付資料
- (1) 第 26 回筑協「つくば 3 E フォーラム」委員会議事要旨 [資料 1]
 - (2) 各タスクフォースの平成 30 年度活動報告及び平成 31 年度活動計画について
 - ・次世代エネルギー TF [資料 2-1]
 - ・バイオマス TF [資料 2-2]
 - ・都市構造・交通システム TF [資料 2-3]
 - (3) 平成 31 年度事業計画（案） [資料 3]
 - (4) 諸報告 [資料 4]
 - ・筑協「つくば 3 E フォーラム」委員会委員確認票
 - ・AQUAPONICS TECHNIQUE BOOKLET
 - ・第 12 回つくば 3 E フォーラム会議プログラム
- 5 議 事
- 議事に先立ち，委員長から，オブザーバーの紹介があった。
- (1) 第 26 回筑協「つくば 3 E フォーラム」委員会議事要旨の確認について
 委員長から，各委員にメールにて照会・確認済みである旨の説明があり，異議なく確認された。
- (2) 各タスクフォースの平成 30 年度活動報告及び平成 31 年度活動計画について
 ○次世代エネルギーシステムタスクフォース
 座長から，資料 2-1 に基づき，今年度も茨城県の独自性を生かした水素ステーション誘致促進活動，水素関連シンポジウム等への協力及びキャンパス水素化構想の検討を行った旨の報告があった。次年度についても誘致促進活動，シンポジウム等への協力を行うとともにキャンパス内水素ステーション構想の具現化について検討していく旨の説明があった。また，TF がこれまで積み上げてきた研究成果や構想に COCN（産業競争力懇談会）等が着目し，具体的な社会実装と実証ができる機運が高まっている旨説明があった。

○バイオマスタスクフォース

事務局から、資料2-2に基づき、今年度も「藻類バイオマスエネルギーの実用化」（つくば国際戦略総合特区事業）について、TFメンバーのそれぞれの専門分野での貢献をしたこと、第17回世界湖沼会議展示会においてアクアポニックスを展示し、積極的に情報発信を行った旨報告があった。次年度についても継続してバイオマスエネルギーの実用化及びアクアポニックスに取り組んでいく旨の説明があった。

○都市構造・交通システムタスクフォース

座長から、資料2-3に基づき、今年度は自動車CO₂排出量のデータ更新、エコドライブ普及（環境研）、カーシェアリングの利用促進（筑波大）、宅配便再配達問題に対する市民意識調査（つくば市、筑波大）、市内小学校校区拡大に伴う児童の通学手段に関する実態調査を行った旨報告があった。次年度についても同様の活動を行っていく旨説明があった。

引き続き、タスクフォース全体としてつくば市のCO₂削減にどう貢献していくのか、CO₂削減量の見える化、TF間の連携の促進等、TFの活動について意見交換が行われた。

(3) 平成31年度事業計画について

委員長から、資料3に基づき、フォーラム会議日程など次年度の事業計画について説明があり、了承された。また、つくば市との連携推進のため次年度も懇談を持ちたい旨の発言があった。事務局から、サイエンスツアーについては、実施時期を秋頃に変更する予定である旨の説明があった。

(4) 諸報告

事務局から、資料4に基づき、第12回つくば3Eフォーラム会議開催など今年度の活動について報告があった。また、委員長から、第3回アドバイザリーボード会議における委員からの意見等について報告があった。

(5) その他

- サイエンスツアーの受入は週末に対応できる機関が少ないこと、一方平日では参加者に不都合なことがあるとの意見があった。
- 企画等で事務局長に負担がかかりすぎであるので、事務局内で分担して負担軽減を検討すべきであるとの意見があった。
- 委員長から、委員の異動がある場合は、事務局まで確認票を提出いただきたい旨の依頼があった。

次回日程 2019年9月下旬頃を予定

以上